

# 議員全員協議会協議事項

日時	令和7年2月20日（木）
午後	1時
場所	第2会議室

## ○ 所管事項の報告について

- 1 未来共創推進戦略2025（案）について
- 2 第8次八戸市行財政改革大綱の策定について
- 3 図南小学校校舎屋根のたわみ（凹）について

議員全員協議会説明資料  
令和7年2月20日  
総合政策部 政策推進課

# 第7次八戸市総合計画 未来共創推進戦略2025(案)



第7次 八戸市総合計画  
ひと・産業・文化が輝く  
北の創造都市

## 策定の趣旨

総合計画は5年間の長期計画 ⇒ 個別事業の方針や時代の急変への対応が必要



各年度のまちづくりの成果を最大化するために

年度ごとに未来共創推進戦略を策定

- ✓ 予算・人材・資産を効率的かつ集中的に配分する
- ✓ 取組の目的・内容を市民にわかりやすく発信し、理解・共感を得ながら、市民とともにまちづくりを進める

# 戦略の章構成と市政運営の考え方

## 戦略の章構成

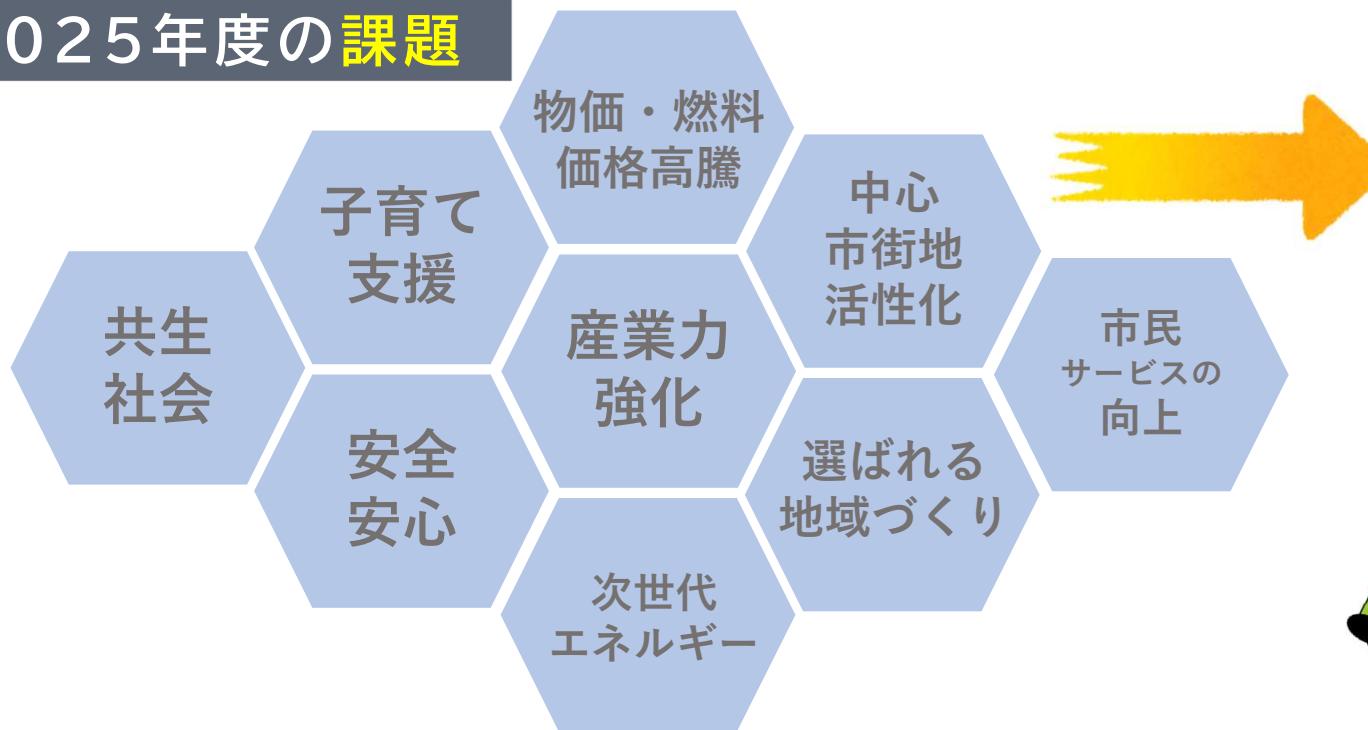
第1章 令和7年度市政運営の考え方

第3章 9つの戦略の推進

第2章 令和7年度における重要課題

第4章 今後の見通しと対応

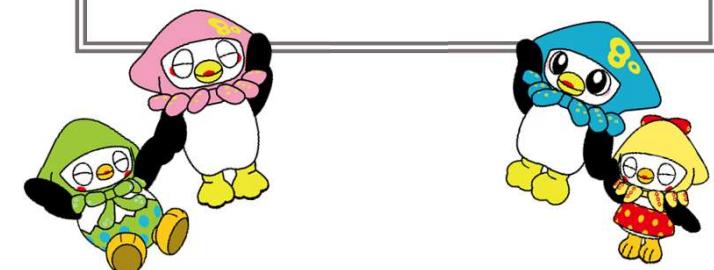
## 2025年度の課題



重要課題を整理し

「9つの戦略」

を位置づけ

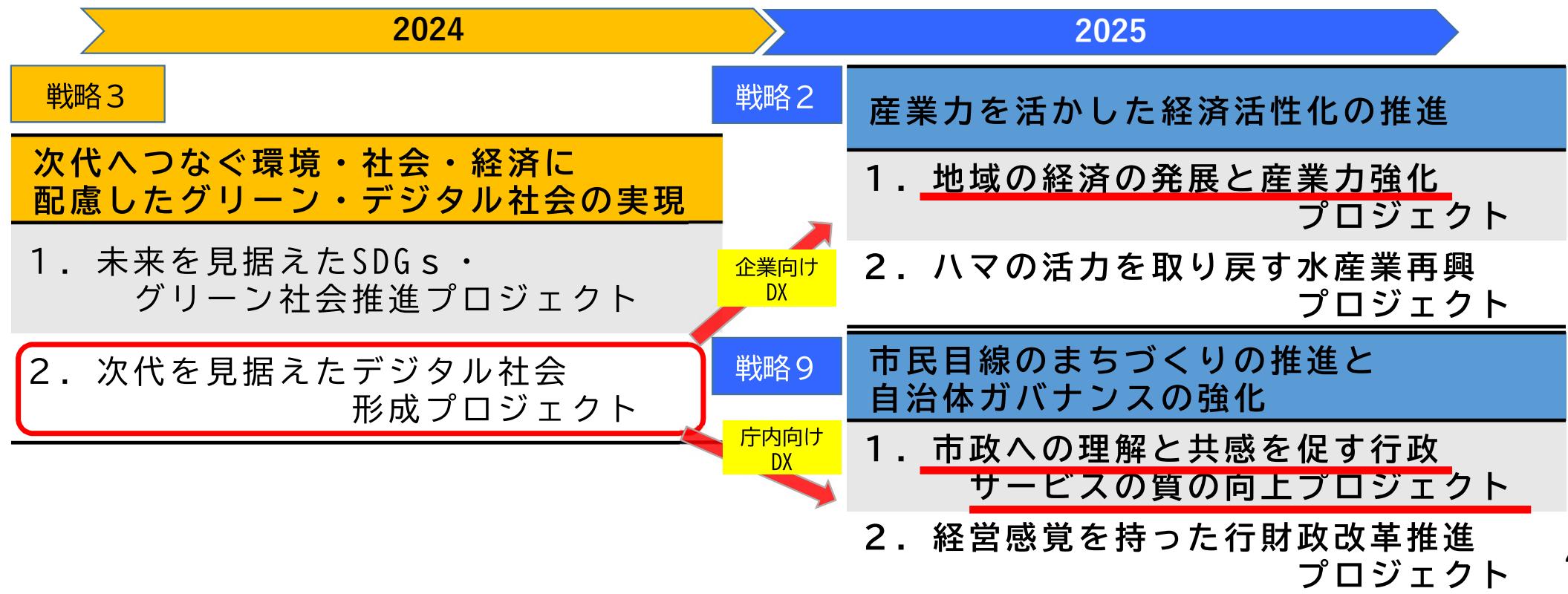


# 課題・戦略・プロジェクト（案）一覧

	【重要課題】	【戦略】	【プロジェクト】
1	社会情勢の変化を踏まえた新たな課題への対応	喫緊の課題へ対応した持続的発展の推進	1. 物価・燃料高騰対策プロジェクト 2. 人手不足解消に向けた人材確保・育成プロジェクト
2	地域経渉の更なる活性化に向けた対応	産業力を活かした経済活性化の推進	1. 地域経済の発展と産業力強化プロジェクト 2. ハマの活力を取り戻す水産業再興プロジェクト
3	持続可能な社会の実現に向けた対応	次代へつなぐ環境に配慮した持続可能な社会の実現	1. 未来を見据えた次世代エネルギー・グリーン社会推進プロジェクト 2. 持続可能な公共交通形成プロジェクト
4	賑わい創出と活力あふれるまちの実現に向けた対応	個性豊かな魅力あるまちづくりの推進	1. 中心市街地賑わい創出プロジェクト 2. スポーツ・文化が有する力を活かしたまちの魅力創出プロジェクト
5	安全安心で暮らしやすいまちの実現に向けた対応	安全安心で人にやさしいまちづくりの推進	1. 災害・危機に強い安全な地域づくり推進プロジェクト 2. 暮らしやすい住環境づくり推進プロジェクト
6	子どもの健やかな成長と豊かな学びへの対応	未来を創る子どもファーストの推進	1. 未来を拓く子ども育みプロジェクト 2. みんなで子育て応援プロジェクト
7	誰もが活躍できる社会の実現と高齢化の進行への対応	多様な人々が活躍できる共生社会の実現	1. 誰もが活躍できる地域社会づくり推進プロジェクト 2. 誰一人取り残さない温かい社会づくり推進プロジェクト
8	連携による地域活性化と魅力あるまちづくりへの対応	連携による活力創出と選ばれる地域づくりの推進	1. 市民力と連携の相乗効果を活かした活力創出プロジェクト 2. 多くの人から選ばれる地域づくり推進プロジェクト
9	市民サービスの向上と行財政運営の効率化に向けた対応	市民目線のまちづくりの推進と自治体ガバナンスの強化	1. 市政への理解と共感を促す行政サービスの質の向上プロジェクト 2. 経営感覚を持った行財政改革推進プロジェクト

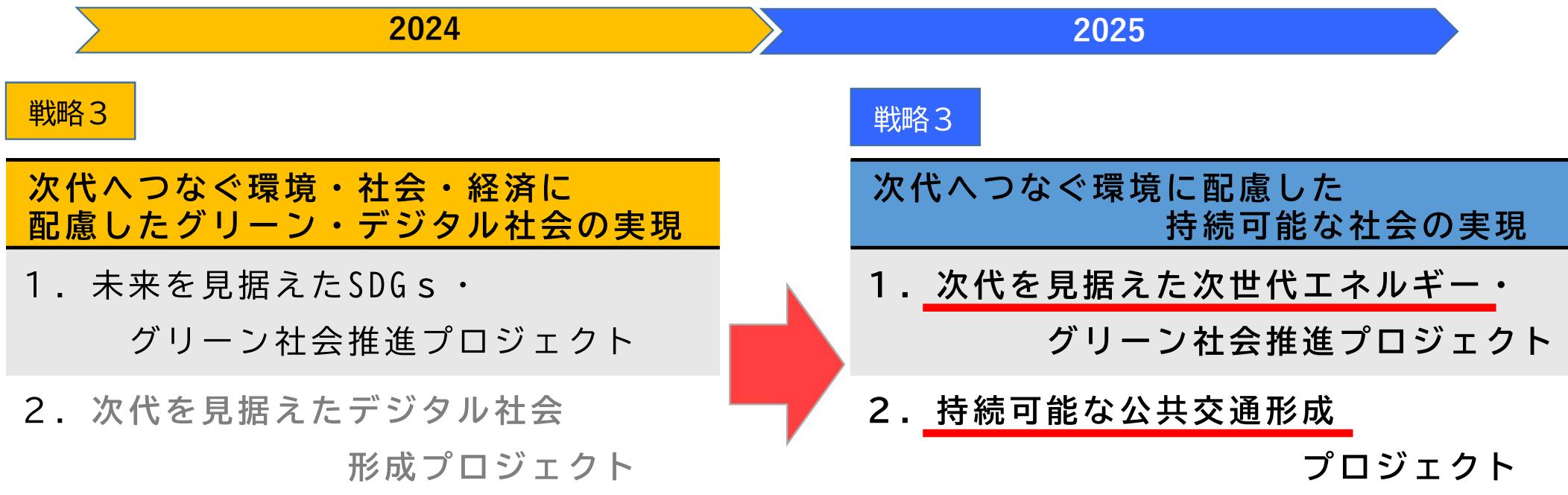
# 2024からの主な変更点1 「デジタル化」の位置づけ変更

未来共創推進戦略2024において戦略3の「デジタル社会形成プロジェクト」に位置付けていた「デジタル化」の取組について、産業振興と行政サービスのデジタル実装に向けた取組を強力に推進するため、戦略2の「産業力強化プロジェクト」と戦略9の「行政サービスの質の向上プロジェクト」にそれぞれ位置付けるものとする。



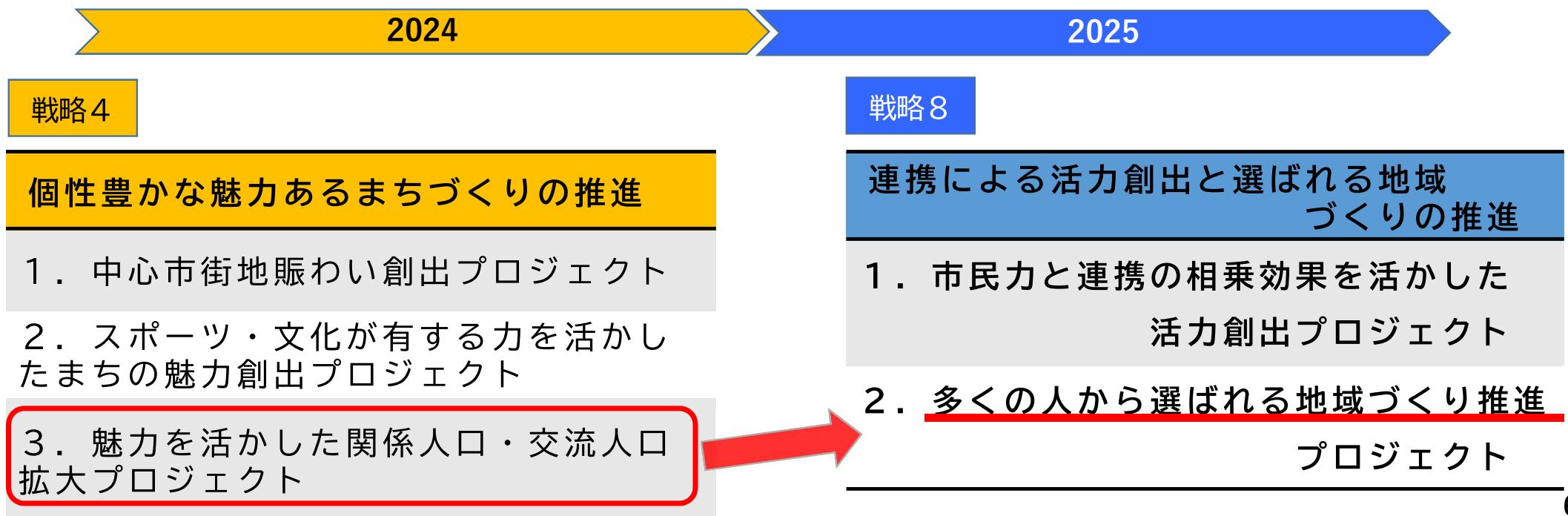
## 2024からの主な変更点2 「次世代エネルギー」と「公共交通」の追加

戦略3について、2050年カーボンニュートラル実現が社会的要請となる中で、水素等の次世代エネルギーの導入に向けて具体的かつ実効的な取組を官民一体となって推進していくとともに、人口減少社会にあっても持続可能な公共交通の形成を図つていくため、新たに「次世代エネルギー・グリーン社会推進プロジェクト」と「持続可能な公共交通形成プロジェクト」として位置付ける。



## 2024からの主な変更点3 「観光振興」の位置づけ変更

未来共創推進戦略2024において戦略4の「関係人口・交流人口拡大プロジェクト」に位置づけていた「観光振興」の取組について、当市が観光客や移住希望者などの多くの人から選ばれる地域となることを目指し、観光地域づくりやシティプロモーションの充実・強化を図るため、移住促進の取組を位置づけている戦略8の「多くの人から選ばれる地域づくり推進プロジェクト」に統合することとする。



# 戦略1 噫緊の課題へ対応した持続的発展の推進

## 1 物価・燃料高騰対策プロジェクト（主な事業）

全  
12事業

- エネルギー価格高騰対策支援 物流効率化支援事業（商工課）【新規】
- （仮称）中小企業振興補助金交付事業（商工課）【拡充】
- （仮称）商工団体物価高騰対策支援事業（商工課）【継続】
- 漁業者燃料価格高騰対策支援事業（水産事務所）【継続】
- **省エネ設備導入等促進事業（環境政策課）【継続】**

## 2 人手不足解消に向けた人材確保・育成プロジェクト（主な事業）

全  
17事業

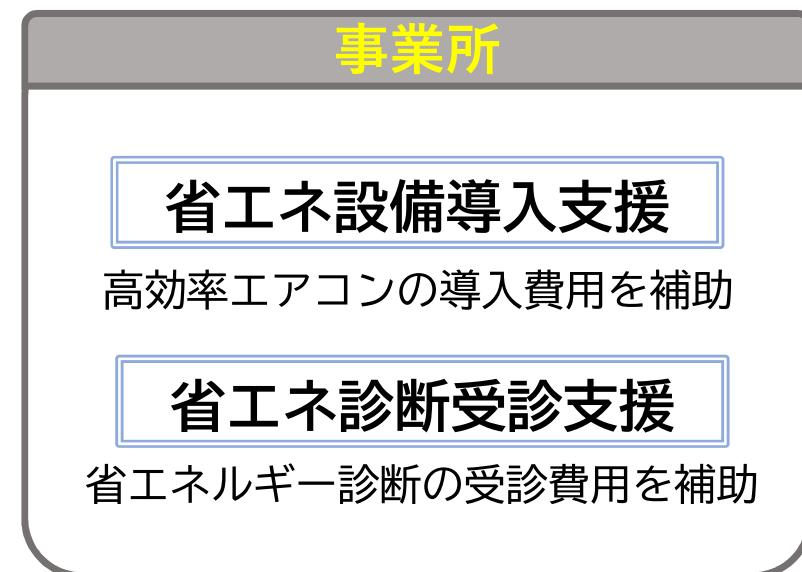
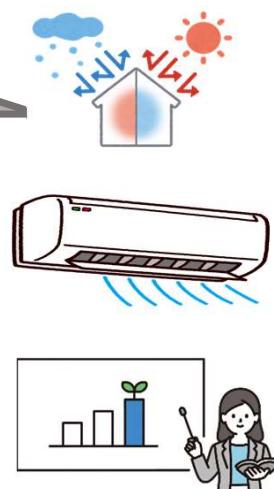
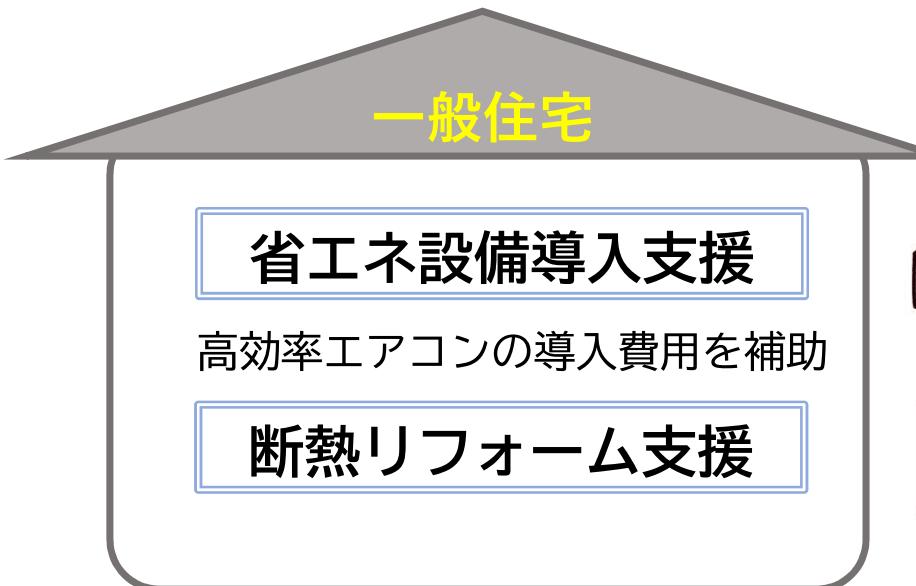
- 高等教育機関・市内企業PR事業（政策推進課）【新規】
- **八戸若者力形成インターンシップ事業（政策推進課）【新規】**
- 外国人材受入セミナー開催事業（政策推進課）【新規】
- 物流問題対策事業（商工課）【新規】
- サンフェスHACHINOHE開催支援事業（商工課）【新規】
- 地域企業課題解決支援事業（商工課）【拡充】

# 省エネ設備導入等促進事業

## 事業の背景

- 燃料価格高騰によるエネルギー価格の上昇でエネルギー消費の削減やコスト負担の増加が社会全体の課題
- 2050年カーボンニュートラル実現に向けて温室効果ガス排出量削減が求められている

## 事業内容



# 八戸若者力形成インターンシップ事業（八戸産学官連携推進会議）

## 事業の背景

- 市が実施したニーズ調査において、新卒・若手人員を「ある程度採用できている」と回答した企業は、「採用できていない」と回答した企業よりインターンシップを実施している割合が高い
- 人手不足が深刻な従業員が少ない企業ほど、インターンシップを未実施

## 事業内容

- ✓ 企業と学生をコーディネーターがマッチングさせ、伴走支援を行いながら企業が抱える課題の解決を目指す長期間のインターンシップを実施し、学生のキャリア形成を支援する
- ✓ 企業の課題解決に向けてインターンシップを実施することで、企業や地域の魅力に気づき、定着につなげる

## インターンシップイメージ

### 学生

- ✓ インターンシップへの応募
- ✓ 長期課題解決型インターンシップへの参加



### 企業

- ✓ 課題の抽出
- ✓ 長期課題解決型インターンシップの受入

## 戦略2 産業力を活かした経済活性化の推進

### 1 地域経済の発展と産業力強化プロジェクト（主な事業）

- いきいきとしたデジタル社会推進事業（情報政策課）【拡充】
- 物流問題対策事業（商工課）【新規】
- 中小企業新技術・新製品・新サービス開発等支援事業補助金（商工課）【新規】
- **サンフェスHACHINOHE開催支援事業（商工課）【新規】**
- 地域企業課題解決支援事業（商工課）【拡充】
- エネルギー価格高騰対策支援 物流効率化支援事業（商工課）【新規】
- イノベーティブ産業集積促進事業（産業労政課）【拡充】

全  
23事業

### 2 ハマの活力を取り戻す水産業再興プロジェクト（主な事業）

- 水産物流通加工振興事業（水産事務所）【拡充】
- 養殖業成長産業化支援事業（水産事務所）【拡充】
- 水産業振興事業（八戸水産アカデミー運営事業）（水産事務所）【継続】
- 八戸漁港漁船誘致推進事業（水産事務所）【継続】
- **水産物卸売業務支援事業（水産事務所）【新規】**

全  
6事業

# サンフェスHACHINOHE 2025開催支援事業

## 事業の背景

- 人口減少に加え、大学進学や就職を機とした若者の域外流出が懸念されている
- その理由の一つとして、若者をはじめ市民の方々にまちの魅力の十分に伝わっていないことなどが考えられる

## 事業内容

- ✓ 市民が当市の産業を知り、魅力的な企業を認知し、地元に誇りを持ってもらうイベントを開催
- ✓ 農水産品などの販売機会も設けることで、地場産品・ブランドの認知や地産地消の拡大を図る

### 開催場所



### 中心市街地

(市庁前広場、YSアリーナなど)



### 開催日

令和7年9月又は10月の日曜日  
10:00~16:00

### 実施内容

- 企業PR & 体験「地域企業魅力発見フェスタ」
- 畜産品販売「畜産フードフェスタ」
- このほか、農産品や水産品の販売コーナー等を設置予定

# 水産物卸売業務支援事業

## 事業の背景

- 水揚げ数量や水揚げ金額の減少、電気料金などの施設利用料の増大により、卸売業者の経営難

## 事業内容

- ✓ 卸売業者に対し、施設利用料の一部補助や運転資金の貸し付けを行う

### 1 水産物卸売業務支援補助金

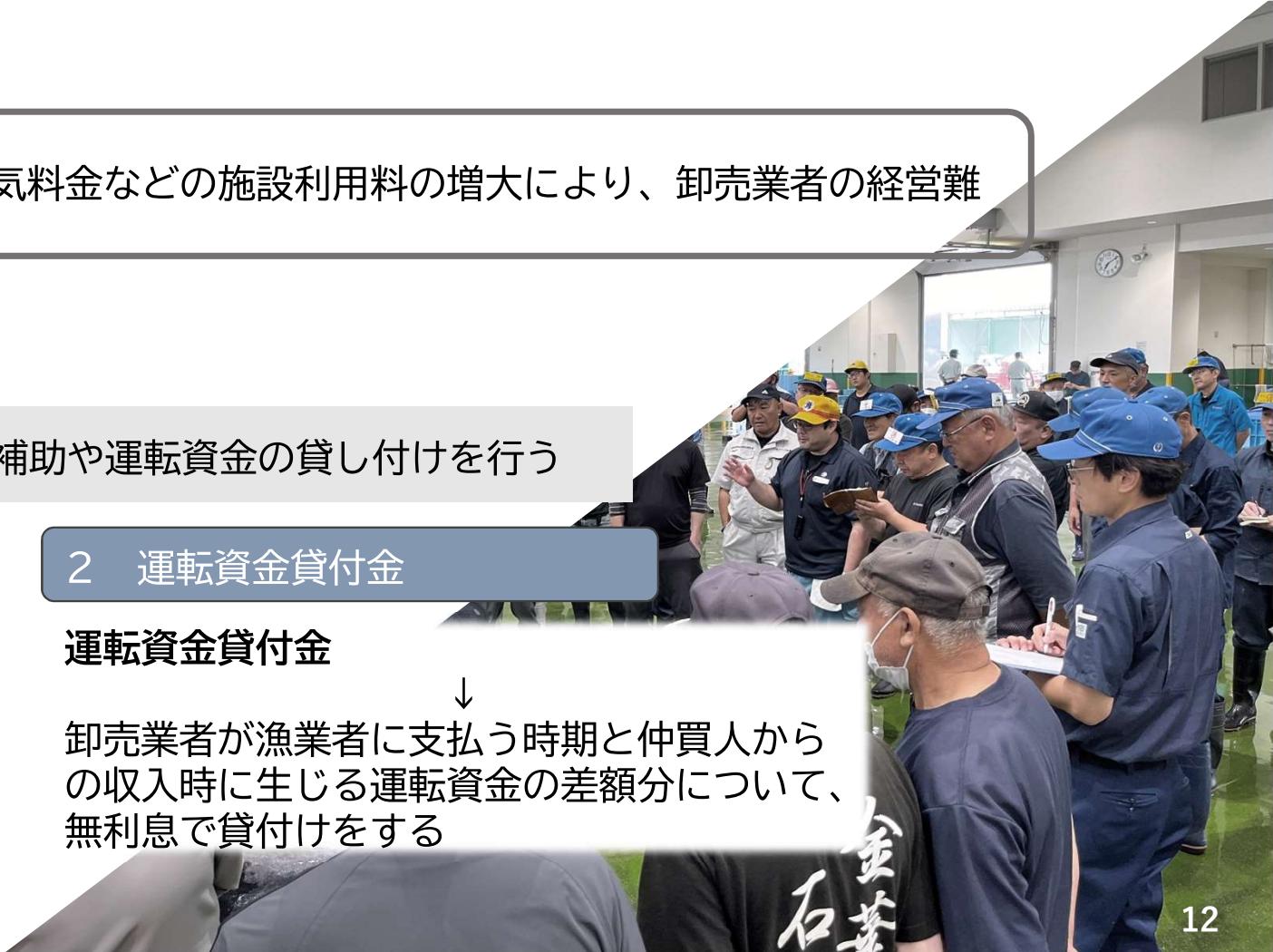
電気使用料、水道使用料  
製氷工場建設借入金に係る利子補給  
卸売業務研修費

↓  
上記に係る経費の一部補助を行う

### 2 運転資金貸付金

#### 運転資金貸付金

↓  
卸売業者が漁業者に支払う時期と仲買人からの収入時に生じる運転資金の差額分について、無利息で貸付けをする



## 戦略3 次代へつなぐ環境に配慮した持続可能な社会の実現

### 1 未来を見据えた次世代エネルギー・グリーン社会推進プロジェクト（主な事業）

#### ●次世代エネルギー導入推進事業（政策推進課）【新規】

- ゼロカーボンオフィス推進事業（環境政策課）【新規】
- 地球温暖化対策理解促進事業（環境政策課）【拡充】
- 学校施設のLED化事業（教育総務課）【新規】
- 是川縄文館照明設備LED化事業（是川縄文館）【新規】

全  
9事業

### 2 持続可能な公共交通形成プロジェクト（主な事業）

#### ● 笹ノ沢地区自家用有償旅客運送補助事業（政策推進課）【新規】

- 八戸圏域地域公共交通計画推進事業（政策推進課）【継続】

- JR八戸線利活用事業（政策推進課）【継続】

- 路線バス運転手確保維持補助金事業（政策推進課）【継続】

- 路線バス事業継続支援事業（政策推進課）【継続】

- 八戸市営バス燃料高騰対策支援事業（交通部）【継続】

全  
7事業

# 次世代エネルギー導入推進事業

## 事業の背景

### 国の動き

- 令和5年度：GX推進法制定、令和6年度：水素社会推進法が制定
- 早期の水素等導入に対し、大規模な支援を展開する方針

### 市の動き

- 2050年カーボンニュートラル実現に向けた次世代エネルギーへの転換を目指し、「水素等導入推進プロジェクトチーム」を設置

## 市の特徴

- ✓ 北東北有数の産業都市で温室効果ガスの排出量も県内随一
- ✓ 多様な産業が集積しており、水素等導入に向けて複数のアプローチが必要
- ✓ 港湾、高速道路、空港などが集積し、物流拠点としてトラック等の流入が多い

八戸モデル  
の創出

## 令和7年度の動き

- ✓ 水素等導入に向けたビジョン（仮）の作成を目指す

## 戦略4 個性豊かな魅力あるまちづくりの推進

### 1 中心市街地賑わい創出プロジェクト（主な事業）

- 中心市街地商業等活性化事業（まちづくり推進課）【継続】
- 中心街ストリートデザイン事業（まちづくり推進課）【継続】
- 中心商店街空き店舗・空き床解消事業（まちづくり推進課）【継続】
- マチニワイベント支援事業（八戸ポータルミュージアム）【継続】
- 旧柏崎小学校跡地広場整備事業（観光課）【新規】

全  
10事業

### 2 スポーツ・文化が有する力を活かしたまちの魅力創出プロジェクト（主な事業）

#### «文化・芸術»

- 旧柏崎小学校跡地広場整備事業（観光課）【新規】
- 共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業（美術館）【新規】
- **八戸市美術館運営事業（美術館）【継続】**

全  
11事業

#### «スポーツ»

- 新体育館整備事業（スポーツ振興課）【継続】
- スピードスケート国際大会誘致事業（長根屋内スケート場）【継続】

# 八戸市美術館運営事業



## 2025年夏開催決定！



吉田泰一郎《シャワーズ》2022  
個人蔵 ©吉田泰一郎 撮影 | 斎城卓



須藤玲子《ピカチュウの森》2023  
個人蔵 ©須藤玲子 撮影 | 林雅之

会期:6月28日(土)～8月31日(日)

場所:八戸市美術館

北海道・東北エリアでは初開催！

世界的に人気を集めるポケモンをテーマ  
に、日本を代表する工芸作家たちがその  
美意識とわざによって表現した世界をお  
楽しみください！

# 戦略5 安全安心で人にやさしいまちづくりの推進

## 1 災害・危機に強い安全な地域づくり推進プロジェクト（主な事業）

- 避難所運営体制の整備事業（災害対策課）【拡充】
- 災害用備蓄物資の充実事業（災害対策課）【継続】
- 保健所機能強化事業（保健所保健予防課）【拡充】
- 新井田白銀線歩道整備事業（道路建設課）【継続】
- 道路啓開計画策定業務（道路維持課）【新規】

全  
11事業

## 2 暮らしやすい住環境づくり推進プロジェクト（主な事業）

- 空き家等管理対策事業（都市政策課）【拡充】
- 空き家活用・住みかえ支援事業（都市政策課）【継続】
- 八戸駅前広場整備事業（都市政策課）【継続】
- 売市第三地区土地区画整理事業（代替整備計画）（都市政策課）【継続】
- 八戸駅西土地区画整理事業（駅西区画整理事業所）【継続】
- 市民で賑わう公園魅力向上事業（公園緑地課）【継続】

全  
9事業

# 戦略6 未来を創る子どもファーストの推進

## 1 未来を拓く子ども育みプロジェクト（主な事業）

- マチナ力まるっと1日体験事業（4館連携）  
(政策推進課、八戸ポータルミュージアム、文化創造推進課、美術館、長根屋内スケート場)
- グリーン・ツーリズム推進事業（農業経営振興センター）【拡充】
- 子どもの声を聴く機会創出事業（子ども未来課）【拡充】
- **児童科学館改修事業（総合教育センター）【継続】**

全  
19事業

## 2 みんなで子育て応援プロジェクト（主な事業）

- 市政情報発信力の強化事業（広報統計課）【拡充】
- 子ども医療費助成事業（子育て支援課）【継続】
- 子ども食堂支援事業（子育て支援課）【拡充】
- 放課後児童健全育成事業（子育て支援課）【拡充】
- 親子関係形成支援事業（子ども家庭相談室）【新規】
- 親子交流支援事業（子ども家庭相談室）【拡充】
- 学校給食費無償化事業（学校教育課）【継続】
- コミュニティ・スクール推進事業（教育指導課）【拡充】

全  
31事業

# 児童科学館改修事業（プラネタリウムリニューアル）

## 事業背景

- 開館から45年を迎える児童科学館を、デジタル技術を活用した魅力ある施設へとリニューアルする
- このうち、令和7年5月に、同館のプラネタリウムがリニューアルオープン!!

## 新プラネタリウム概要

★投影恒星数6200個→800万個

★投影機の小型化でより見やすく!!

★地球や惑星の地表面を精細に描写

★ゆったりとした座席と

車椅子利用者等への配慮



# 戦略7 多様な人々が活躍できる共生社会の実現

## 1 誰もが活躍できる地域社会づくり推進プロジェクト（主な事業）

全  
17事業

- 外国人材受入セミナー開催事業（政策推進課）【新規】
- **八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業（政策推進課）【継続】**
- 多文化共生推進事業（市民連携推進課）【拡充】
- 若者マチナ力会議運営事業（市民連携推進課）【継続】
- 認知症サポーター養成・活動促進事業（高齢福祉課）【継続】

## 2 誰一人取り残さない温かい社会づくり推進プロジェクト（主な事業）

全  
10事業

- 重層的支援体制整備事業（福祉政策課）【新規】
- 介護予防・日常生活支援総合事業（高齢福祉課）【継続】
- 介護の仕事理解促進事業（介護保険課）【継続】
- 介護業務の革新・業務効率化事業（介護保険課）【継続】
- がん患者医療用補整具購入費助成事業（保健所健康づくり推進課）【継続】

# 八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業

## 事業内容

- 若者や女性にとって魅力あるまちの実現に向けて、市長に対して政策提言を行う「八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議」を運営

## 令和6年度テーマ

### 「我がままで良い我がまち八戸」

✓ 「若者の自己実現」を切り口とした8つの政策提言を受け、  
令和7年度は19の事業を実施

## 政策提言を受けて令和7年度に実現する予定の主な事業

提言① 若者が#ゆるーくつながれる居場所づくり

こどもの声を聴く機会創出事業（まちなかマップ作製）

提言② #私のまちってこんなとこ ちょうどいいまち八戸

シティプロモーション推進事業（八戸市超帰省⑥応援事業）

提言⑦ #八戸版ライフワーク #地域の人事部 で地域に参加

八戸若者力形成インターンシップ事業（八戸産学官連携推進会議）



▲ 令和6年9月 市長へ提言書を提出

# 戦略8 連携による活力創出と選ばれる地域づくりの推進

## 1 市民力と連携の相乗効果を活かした活力創出プロジェクト（主な事業）

- 連携中枢都市圏推進事業（政策推進課）【継続】
- はちとまネットワーク推進事業（政策推進課）【継続】
- 八戸産学官連携推進事業（政策推進課）【継続】
- 「元気な八戸づくり」市民奨励金事業（市民連携推進課）【拡充】
- 市長との公民館サロン開催事業（市民連携推進課）【継続】

全  
12事業

## 2 多くの人から選ばれる地域づくり推進プロジェクト（主な事業）

- 高等教育機関・市内企業PR事業（政策推進課）【新規】
- ふるさと寄附金PR事業（広報統計課）【新規】
- **シティプロモーション推進事業(八戸市超帰省®応援事業)  
(広報統計課)【拡充】**
- 圏域事業者PRイベント開催事業（商工課）【新規】
- 高校生による地元企業魅力発見体験事業（産業労政課）【継続】
- 物産販売促進事業（観光課）【拡充】
- 世界遺産PR事業（是川縄文館）【新規】

全  
23事業

# シティプロモーション推進事業（八戸市超帰省®応援事業）

## 事業背景

「超帰省®」友人や同僚を連れて地元に帰省したり、友人等の帰省について行ったりすることを一般社団法人超帰省協会が提唱したもの

- 国勢調査による当市の人ロは、15歳から24歳の転出超過が全体の約9割を占め、若年層の流出が当市の人ロ減少を加速させる大きな要因
- 地元の良さを認識できないまま地元を離れる場合が多い

## 事業内容

### クーポン

- ✓ 市内協働事業者の優待クーポンをプレゼント

### 私のすすめる八戸旅

- ✓ 協働事業者が考えた「お試し旅」を実施する



※八戸市出身者等：八戸市出身者及び八戸市と何らかの関りがある八戸市を地元と思う人（＝関係人口）

# 戦略9 市民目線のまちづくりの推進と自治体ガバナンスの強化

## 1 市政への理解と共感を促す行政サービスの質の向上プロジェクト（主な事業）

- 市政情報発信力の強化事業（広報統計課） 【拡充】
- 行政組織活性化事業（人事課） 【拡充】
- 病児・病後児保育事業（病児保育ネット予約サービス事業）（こども未来課） 【拡充】
- **電子図書館導入事業（図書館） 【新規】**

全  
10事業

## 2 経営感覚を持った行財政改革推進プロジェクト（主な事業）

- 公共施設有効利用促進事業（行政管理課） 【継続】
- 職員研修事業（人事課） 【継続】
- 民間企業との交流事業（人事課） 【継続】
- 入札・契約制度適正化推進事業（契約検査課） 【継続】
- ICT活用による業務効率化推進事業（情報政策課） 【継続】

全  
5事業

# 電子図書館導入事業

## 事業背景

- 本を借りる場合は、図書館まで行かなければならず、時間や場所の都合などで本に親しむ機会の喪失
- 本の紛失や、汚損・破損のおそれがある

## 事業内容

- ✓ 図書館に行けない人でも本に親しむことができるサービスを提供するため、**電子図書館**機能の導入を進める



# 第8次八戸市行財政改革大綱

効果的・効率的な行政運営と持続可能な財政運営の確立  
～『変革への挑戦』と『未来への責任』～

令和7年2月  
八戸市



八戸市では、人口減少及び少子・高齢化が進行し、それらを背景とする**人手不足**の深刻化、施設・インフラの**老朽化**への対応、住民の**価値観やニーズの多様化**、**デジタル技術**の社会への急速な浸透など、市を取り巻く環境は大きく変化しており、行政需要の増大が今後も想定され、引き続き厳しい行財政運営が続くものと見込まれます。

今後も市のミッションを果たしていくためには、**職員一丸**となって**行財政改革**にチャレンジすることが必要となります。

## 市のミッション

地方公共団体の役割は、**住民の福祉の増進**を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施することです。

また、その事務を処理するに当たっては**最少の経費で最大の効果**を挙げることに加えて、**常に組織及び運営の合理化**に努めることが求められています。

## 八戸市行財政改革大綱の役割

八戸市行財政改革大綱は、上記のミッションを達成し、市勢発展を実現していくことを目的として、**全職員が共通の認識**に立ち日常業務を通じて行財政改革の検討・取組を進めるための指針とするものです。



7次にわたる行財政改革によって行政のスリム化や行政資源の最適化をはじめとする各種取組が実施され、着実に市民サービスの向上が図られてきた一方で、人口減少及び少子・高齢化の進行やデジタル技術の浸透によるライフスタイルの変化など、当市を取り巻く環境は大きく変化しており、行政需要の増大が今後も想定されることから、引き続き厳しい行財政運営の状況が続くものと見込まれます。

(1) 人口減少及び少子・高齢化の進行

(2) 多発する自然災害や新たな感染症への備えの必要性

(3) デジタル技術の浸透によるライフスタイルの変化

(4) 公共施設等の維持管理経費の増大



## (1) 策定の趣旨

職員一人ひとりが第7次八戸市総合計画に掲げる将来都市像「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」を見据えながら、経営感覚を持って各種取組を考え、組織として限られた経営資源（職員・資産・資金・情報・時間）を効果的・効率的に活用し、持続可能な行財政運営を推進するにあたり、これまでの行財政改革大綱の考え方を継承しながらも、新しい時代に対応すべく「スマート自治体」への転換を目指し、デジタルトランスフォーメーション（DX）による業務の効率化や働き方改革の更なる推進を図るための新たな指針として、「第8次八戸市行財政改革大綱」を策定します。

## (2) 行財政改革の方向性

人口減少に伴い、税収や職員数の減少が見込まれる中、より質の高い行政サービスを効果的・効率的に提供していくため、従来の体制・事業・制度に固執することなく、スクラップアンドビルトの視点によって限られた経営資源の有効活用を図るとともに、デジタル化の進展を踏まえたDXなど、効果的・効率的に行政サービスを提供する手法を常に追求し、変革への挑戦に取り組みます。

加えて、先を見通すことが難しい状況が今後も続くことから、事務事業の効率化に加え、事業の選択と集中によって財源を確保し、未来への責任を果たすため、あらゆる環境変化に耐え得る持続可能な財政基盤の確立を図ります。



## (3) 基本理念

効果的・効率的な行政運営と持続可能な財政運営の確立

～『変革への挑戦』と『未来への責任』～

## (4) 推進期間

令和7年度から令和11年度まで（5年間）

## (5) 注目指標

行財政運営の安定性や持続可能性、改革の進捗及び達成状況を総合的に判断するため目標を設定

定員管理（正職員） ※各年度4月1日時点	推進期間				
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	1,397人	1,403人	1,395人	1,388人	1,385人

基金残高		最終年度の令和11年度末において50億円を維持		
財政健全化指標	実質公債費比率	12%以下	(参考) 財政健全化法の早期健全化基準	25%

財政健全化指標	実質公債費比率	12%以下	(参考) 財政健全化法の早期健全化基準	25%
	将来負担比率	120%以下		350%



## (6) 関連指標

○市の現在地を確認するため他都市と比較する指標を設定

### 指標

- ・人口1万人当たりの正職員数
- ・住民1人当たりが負担している会計年度任用職員コスト
- ・財政力指数
- ・経常収支比率
- ・有形固定資産減価償却率

○中核市において、当市のように常備消防事務を一部事務組合で処理する団体を抽出し、類似性の高い13都市（当市含む）を独自の類似団体として比較対象都市としました。

### 類似性の高い13都市

八戸市、青森市、盛岡市、郡山市、高崎市、川越市、甲府市、松本市、枚方市、寝屋川市、鳥取市、福山市、久留米市



## 柱1 組織運営の最適化と人材育成の推進

(推進項目)

- 組織力の向上
  - 人材育成（能力向上）
  - スマートなワークスタイルの推進
  - リスク管理の徹底
- ⇒アクションプログラム取組数 計35項目

## 柱2 時代の変化に対応した効果的で効率的な行政運営

(推進項目)

- DX推進等による市民サービスの質の向上
  - 庁内BPRの推進
  - 事務事業の総合的な見直しの推進
  - 多様な主体との協働・連携
- ⇒アクションプログラム取組数 計48項目

## 柱3 経営感覚を持った持続可能な財政運営

(推進項目)

- 健全な財政運営の推進
  - 歳入の確保・強化
  - 財産の適正管理と有効活用
- ⇒アクションプログラム取組数 計27項目



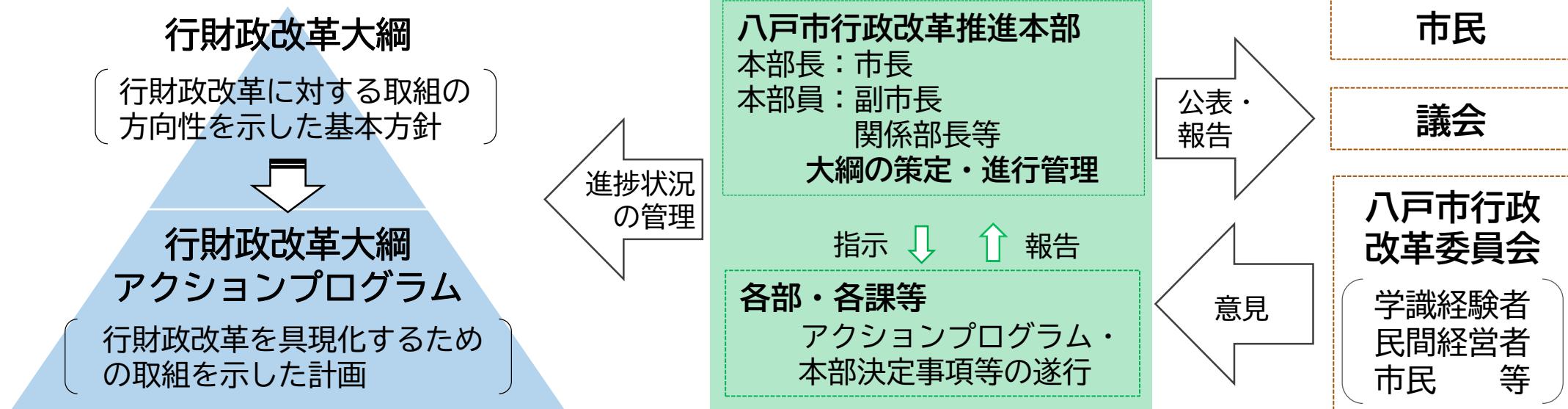
# 推進体制及び進行管理

第8次行財政改革大綱を着実に推進するため、市長を本部長とする「八戸市行政改革推進本部」において、毎年度進行管理を行います。

進行管理では、大綱に掲げた3つの指標とアクションプログラムに掲載した取組項目の進捗状況を把握するとともに、社会経済情勢の変化等に柔軟に対応するため、新たな取組の掘り起こしやスケジュールの前倒しなどを随時行いながら見直しを実施します。

なお、進行管理結果については、市民に公表するとともに、八戸市行政改革委員会や市議会等に報告し、意見を踏まえながら行財政改革を推進していきます。

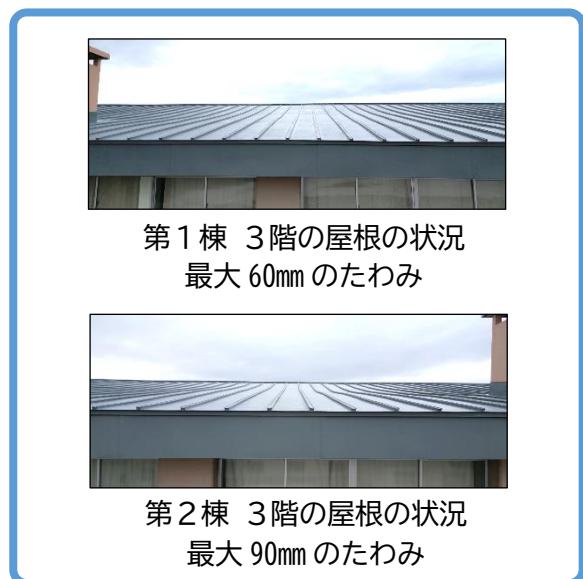
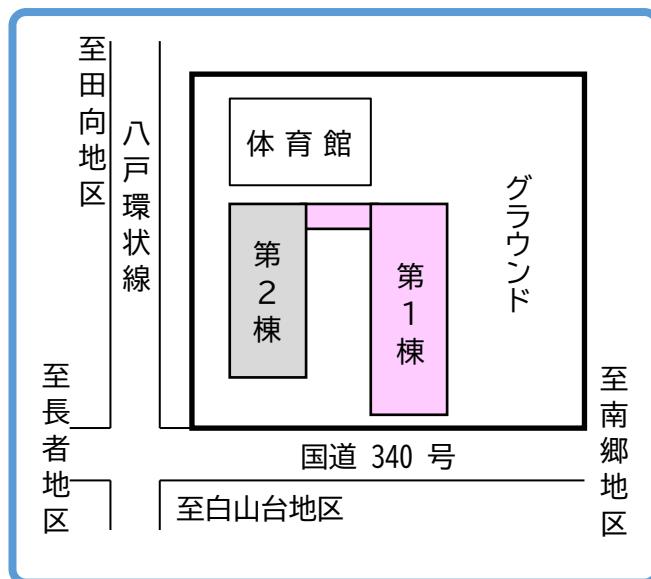
## «推進体制»



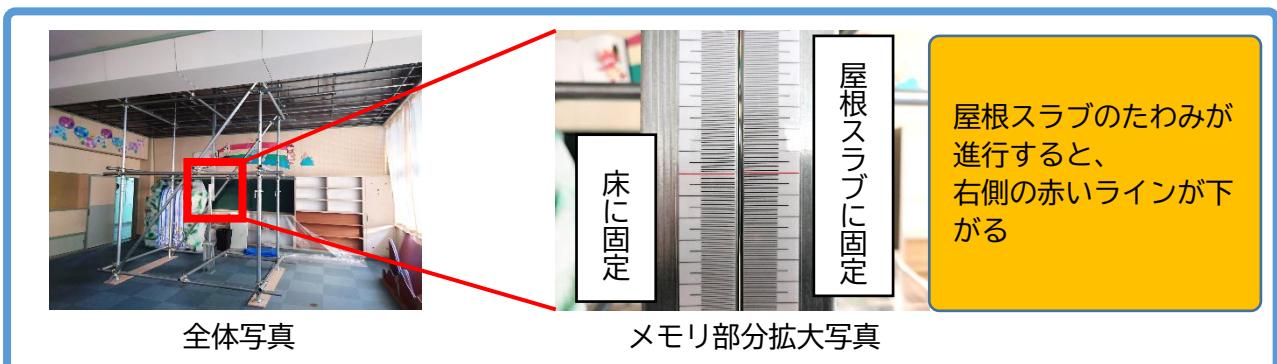
## 図南小学校校舎屋根のたわみ（凹）について

## 1. 経緯

- ・H29年4月に屋根改修（トタン張替）のための現場調査を実施したところ、屋根中央部に目視でたわみ（凹）を発見。
  - ・同年6月に屋根のトタンを剥がし、コンクリートスラブ（以下、「屋根スラブ」という。）のたわみ調査を実施したところ、  
管理教室棟（第1棟）に、最大60mm、  
普通教室棟（第2棟）に、最大90mmのたわみが計測された。



- ・図南小学校の屋根スラブのたわみ許容値は計算上、100.7 mmまであり、特に第2棟はあと10.7 mmに迫っていることから、災害等の外的要因によりたわみが進行すれば、将来的に、屋根の崩落が予想された。
  - ・R2年度に、たわみ簡易測定器を設置し、半年に1回程度の経過観察を開始。これまでにたわみの進行は見られない。



## 2. たわみ（凹）の主な要因

設計上、屋根を支える梁が少なかったことと、校舎竣工から現在までの47年間に、自然災害（震度5弱以上が10回発生、幾度かの大雪）による影響もあったと考えられる。

### 3. 対策の検討

- これまでにたわみの進行は見られていないが、今シーズンの青森市をはじめとする豪雪災害（学校施設の被害あり）や、全国各地での大地震等の自然災害による被害が発生しており、図南小学校においては、児童の安全確保の観点から、これまでの監視体制から抜本的な対策を講じる体制に移行する。
- 具体的には、「緊急かつ子どもたちへの影響を最小限にするため、早期に解決できる方法であること」を判断基準とし、本校同一敷地内における、2階建てでの建替を検討する。  
(第一種低層住居専用地域：高さ制限 10m)

#### (参考) 図南小学校の概要

開校：S53年4月1日 ※R9年度で創立50周年

児童数：104人（R6年5月1日現在）

※今後の推計では、R11年度までの5年間で学級数の変動はない。

校舎：鉄筋コンクリート造3階建て

#### (1) 他の学校の利用の検討

想定ケース	課題
①他校へ統合の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>図南小学校は、学校適正配置の検討開始の優先度が高い段階に入っていない。</li> <li>建物の危険性が高いことを理由に、長者小学校等近隣小学校と統廃合を検討した場合、図南小学校の保護者、教職員、受入先の学校ともに十分な理解と、運営方法の工夫が必要であり、体制を整えるのに相当の時間を要するため、緊急対応には馴染まない。</li> </ul>
②近隣の廃校利用の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧番屋小学校を、図南小学校として再利用する場合、普通教室が4つしかないため、教室数が不足。</li> </ul>

以上のとおり、他校への統合と廃校利用を検討した結果、他の学校の利用は難しいと考える。

#### (2) 大規模改修・建替の検討

新校舎の整備手法	想定ケース	総事業費(概算)	校舎供用開始までの期間	全行程完了までの期間	備考 ※( )内は工期
設従来・施工等の分割発注	①大規模改修 (屋根架替及び構造体の補強)	約39億円	5年	5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭に仮設校舎（2年）</li> <li>校舎改修工事（3年）</li> </ul>
	②建替（2階建） (鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造)	約24億円～ 約32億円	3年	6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭に新校舎（3年）</li> <li>現校舎解体工事（1.5年）</li> <li>新グラウンド整備（1.5年）</li> </ul>
設プロポーザル・施工等による一括発注	③建替（2階建） (鉄骨造)	約28億円	2年	5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭に新校舎（2年）</li> <li>現校舎解体工事（1.5年）</li> <li>新グラウンド整備（1.5年）</li> </ul> <p>※新校舎建設工事は、15回分割払いとし、予算の平準化を図る。</p>

以上のとおり、本校の敷地内を利用して、最も工期が短くなるプロポーザルによる一括発注による③建替（2階建て）とするのが最善と判断。

#### 4. 保護者・地域に対する説明及びアンケート結果について

- 【説明会日程】 ①令和7年2月13日（木）対象：在校生保護者、地域  
②令和7年2月14日（金）対象：新入生保護者

【場所】 国南小学校

【アンケート結果】 説明会出席者へ、市教育委員会の方針・方向性に関するアンケートを実施。

説明会の案内者156人に対し、出席者は82人（出席率53%）、そのうち、アンケート回答者は74人（回答率90%）、そのうち、「同意する」が72人（97%）、「同意しない」は0人（0%）であった。

また、「早急に建ててほしい」「新校舎で早く勉強してほしい」「子どもたちの安全と、楽しいかけがえのない大切な学校生活のためによろしくお願いします」等、建替に前向きなご意見をいただいた。

#### 5. 児童の安全確保のための対策スケジュール（案）について

- ① R7年4月に、第2棟の教室を第1棟へ集約し、児童の安全を確保

※第1棟のたわみが進行した場合には、緊急避難先として、近隣の学校と連携し、余裕教室の活用を実施

- ② R7年度から2階建ての新校舎建設工事に着手

③ **R9年度 新校舎開校**

- ④ R9年度以降、現校舎解体（第1棟、第2棟とも）

- ⑤ 現校舎解体後、新グラウンド整備

#### 6. 整備手法について

- ・最も工期を短くするため、新校舎建設は、  
プロポーザルによる設計・施工等を一括発注  
・新校舎建設にかかる契約期間を15年とし、  
予算の平準化を図る

★プロポーザルによる一括発注でのメリット  
・校舎供用時期が早い（2年程度）  
・単年度にかかる経費が抑えられる（15回の分割払い）

#### 7. 予算案について

- ・新校舎建設に関連する経費については、今後精査の上、R7年度に補正予算案を提出予定。  
・現校舎解体・新グラウンド整備については、R8年度以降予算案を提出予定。

#### 《新校舎及び新グラウンド整備完了後のイメージ》

